

みんなで作る、未来へつなぐ。あふれる笑顔、びらとり。 No.714



広報びらとり 2022. 5

Biratori Town Public Relations Magazine

二風谷ファミリーランド (4月27日)



新規参入希望農業研修生を紹介します



今年は道内外から6組の農業研修生を受け入れ、4月4日町長室に表敬訪問しました。各受入農家さんの指導を受け就農を目指します。研修生より一言、目標などを話していただきました。

名西さんより「芽かきやトマト縛りなど、未経験なので想像していた以上の過酷さもありますが、丁寧に教えてくださり、体で覚えることができてありがたいです。就農後は平取トマトと音楽、知人との繋がりを大切に、楽しい農業づくりを目標にしています。」とお話いただきました。
～去場 楠木一史さん受入～



名西康二さん（左）直子さん（右）

嶋田さんより「作業は農家さんより1つ1つ丁寧に教えていただき、安心してやっています。妻と情報を交換し自分達ならどうやるかなど考えたりしてます。就農したらペースを掴んで、工夫しながら営農して行きたいです。」とお話いただきました。
～紫雲古津～
嶋田恭明さん（佐藤拓美さん受入）
美沙紀さん（高橋直也さん受入）



嶋田恭明さん（美沙紀さんは別圃場で研修）



萱野さん夫妻（左）、田中宏和さん（中央）美都さん（右）

田中さんより「全てが初めての作業。1カ月だけ慣れないことで大変です。定植や水やり等1つ1つの作業の大切さを教えていただいています。就農後は、生活できるトマト収量を確保して、マイホームを建てるのが目標です」とお話しいただきました。
～長知内 萱野久彦さん受入～



中村康太郎さん（瑠南さんも研修中）

中村さんより「日高町で農作業経験があり、平取町の営農方法は新しい発見があり、面白いです。平取町はトマトのブランド力があり、作ることに集中できる環境が魅力です。就農したら後続く方からも尊敬されるような営農を目標にしています。」とお話いただきました。
～紫雲古津～
実践農場（渡邊邦衛さん担当）

金澤さんより「まだ1カ月も作業していませんが、苗ずらし、イボタケ、芽かき作業を行いました。まだまだ慣れない作業ですが、初めての事で楽しくやっています。
子どもたちが大きくなって、一家で楽しく営農できる農家が目標です。」とお話いただきました。
～振内町 渡邊邦衛さん受入～



金澤孝之さん（右）亜美さん（左）

山本さんより「ノウハウをそれぞれ丁寧に教えて下さり、作業の仕方を勉強しています。就農後は規模が小さくともトマトの収量を確保して営農することを目指したいです。」（知弘）「就農したら、まずはしっかりとしたトマトを作りたいです。」（文）とそれぞれお話しいただきました。
～荷菜～
山本知弘さん（垂柳 忠さん受入）
文さん（笹山悦子さん受入）



山本知弘さん（左）文さん（右）

まちのひろば

4/12

福祉用品を寄贈

苦小牧地方法法人会平取支部

苦小牧地方法法人会（会長…小林史明氏）では、毎年「社会貢献事業」として地域の福祉施設に必要な福祉用品を寄贈しています。本年度は例年より規模を拡大して、平取養護学校と平取かつら園にそれぞれ手渡されました。



平取養護学校 贈呈式



平取かつら園 贈呈式

平取養護学校 鈴木校長より、「介助に使用するマットの老朽化や枚数不足の解消が図られるので、大変感謝しています。」とお礼の言葉がありました。平取かつら園 山岸理事長からも、「寄贈された介護用品で、入園者をはじめ通園者にも安心して利用できる施設になり、大変感謝しています。」とお礼の言葉がありました。

4/14

故郷で思い新たに

ペナンペ・パナンペ

皆さんは平取町出身のお笑い芸人ペナンペ・パナンペ（川上将史・川上竜也）のお二人をご存知でしょうか。お二人は、平取町内でも漫才を披露したこともあり、今年でコンビ結成7年目を迎える中堅芸人です。



川上将史さん 川上竜也さん

4月14日、札幌市で開催された北海道No.1芸人を決めるHOKKAIDO O'1に出場するにあたり、4月4日町に帰郷し、故郷から元気をもらい本番に臨まれました。



HOKKAIDO-1の様子

結果は、17組中5位と、優勝は叶いませんでしたが、大会を終えた二人より、「今回は優勝逃して残念でしたが、次回も出場してより上位を目指して平取町を有名にします。」（竜也）「平取でまたライブをやりたいです。これからも活躍できるような頑張りますので、皆さん応援お願いします。」（将史）と話してくださいました。

4/16

優勝記録更新!!

オジュウチョウサン

川向 坂東牧場生産

年内2つしかない障害レース最高峰の一つ、第24回中山グランドジャンプ（JGI）で11歳の高齡にして6度目の制覇を狙う、オジュウチョウサンが1番人気に応え、見事勝利を挙げました。自身の持つJGIでの勝利数の記録も9つに伸ばしました。

レースを振り返り、顧問の坂東勝彦さんは「最後まで競っていたが、差し返し根性のある馬だ。」と話し、佐藤副町長より「関係者の努力によりこういう結果に繋がったと思う、今後もケガ無く走ってほしい。」と話され、駆け付けた関係者・厩務員と勝利を喜びました。



オジュウチョウサン号の優勝を関係者一同で祝福

4/22

チセノミ（新築祝い）

芽生 平取ダム管理棟

すずらん群生地知られている芽生地区に平取ダム管理棟が完成しました。

管理棟の一部はアイヌが居住するチセ（家）をモチーフにした作りとなっており、この度、北海道開発局鶴川沙流川事務所が主催となり、平取アイヌ協会などの協力のもと、チセノミ（新築祝い）が執り行われました。

カムイノミ（始めを告げる神々への祈りの儀式）から始まり、チセチョツチャ（家の落成のお祝い）と言われる新築祝いの時に屋根裏へヨモギの矢を射る儀式、ハルランナ（穀物が降ったような儀式）、シンヌラツパ（先祖供養）が滞りなく行われ、その後、平取アイヌ文化保存会による古式舞踊が披露され、最後に儀式の終わりを告げるイナウエタイエ（イナウを送る儀式）で無事終了しました。

管理棟内では、額平川流域と周辺の自然や歴史をはじめ、アイヌ料理、民具など、平取ダム建設と地域に関わる内容を紹介する展示ブースが整備されています。



チセノミの様子



チセをモチーフにした平取ダム管理棟

5/7

キナアカラ（山菜採り）体験

二風谷 イオルの森

今年も頼平取町アイヌ文化振興公社主催のイオル体験交流事業として、キナアカラ（山菜採り）体験が、二風谷地区イオルの森で行なわれました。

晴天に恵まれ、採取前には、アイヌ語による安全祈願が行なわれました。

約20名の参加者たちは、森の中で山菜の説明を聞きながら採取し、お昼頃にはキナオハウ（山菜汁）やイナキビのおにぎりを試食して、春の楽しい一日を過ごしました。



5/13

介護職の安定確保へ

介護人材の確保に関する包括連携協定

道内唯一の公立介護福祉専門学校を運営する栗山町では、道内の市町村と連携して、介護人材の育成・確保で協力しあう事業を進めています。

この度、平取町・栗山町・北海道介護福祉学校による協定締結式が、中央公民館で開催されました。

平取町より「介護現場における人材不足を補うため、包括協定を推進し、次代を担う子どもから、介護や高齢社会に関する理解を深めたい」。栗山町長より「介護人材確保は全ての自治体の課題。当町では生徒確保が課題であり、連携により双方のプラスになれば」と、ご挨拶いただきました。

今後、町では同学校へ進学し、卒業後は平取町で就職希望の学生向け支援を予定しています。



教育委員会からのお知らせ

～青空の下で、子どもの日振内親子ハイキング～



5月5日、振内親子ハイキング（振内自治会主催、振内青少年会館後援）が開催されました。

今年のゴールデンウィーク前半は、天候が安定していない日が数日ありましたが、当日は快晴となりハイキング日和となりました。仁世宇園から振内青少年会館まで約10kmのコースを35人が元気いっぱいに歩き、最後まで楽しくハイキングをすることができました。



仁世宇園では、山女魚釣り大会を実施し、釣った魚の重さを競い、入賞者には商品券が贈られました。釣った山女魚は唐揚げにして、豚汁と一緒に味わい、楽しい子どもの日となりました。

～令和4年度 町民体育館の年間利用割当～

町民体育館利用割当は、次のとおりとなっています。

平取町民体育館競技場

曜日	午前		午後		夜間	
	9:00~12:00	13:00~15:30	15:30~17:00	18:00~19:30	19:30~21:00	
月	一般開放	一般開放	平中バドミントン部 4月~9月 15:30~18:30 10月~3月 15:30~18:00	サッカー少年団 10月~3月 18:00~19:30	フットサル 4月~9月 19:00~21:00 10月~3月 19:30~21:00	
火	ソフトテニス	ゲートボール 4月・10月~3月 一般開放 5月~9月	平中バドミントン部 15:30~18:00	羽球少年団 18:00~19:30	一般羽球	
水	テニボン	一般開放	平中バドミントン部 15:30~18:00	羽球少年団 18:00~19:30	一般開放	
木	ソフトテニス	一般開放		羽球少年団 18:00~19:30	一般羽球	
金	テニボン	ゲートボール 4月・10月~3月 一般開放 5月~9月	一般開放	剣道少年団 18:00~19:30	一般開放 19:30~20:00(半面) 20:00~21:00(全面)	剣道少年団 19:30~20:00(半面)
土	平中バドミントン部	一般開放	一般開放 4月~9月 15:30~18:00 サッカー少年団 10月~3月 15:30~18:00	一般開放 5月~9月 18:00~19:30 フットサル 4月・10月~3月 18:00~19:30	一般開放	

☆ 施設利用者は必ず施設利用者名簿に記載してください。 ☆ 競技場内での飲食はご遠慮願います。
☆ 持ち込んだゴミはお持ち帰り願います。

令和4年度

体育施設 利用割当表

平取町民体育館体育室

曜日	夜間
日	18:30 ~ 21:00
月	
水	柔道少年団
火	
木	五心館

平取中学校体育館(学校開放)

曜日	夜間
日	19:00 ~ 21:00
月	
火	飛鳥 (バレーボール)
水	テニボン
木	
金	飛鳥 (バレーボール)

全ての子どもたちの可能性を引き出す、 個別最適な学びと、協働的な学びの実現を

「令和」という新時代も4年目を迎えました。引き続き、新型コロナウイルスの感染予防の対応を取りながら、「令和の日本型学校教育」の実現に向けて、指導方法や指導体制の工夫改善により「個に応じた指導」の充実を図っています。

また、GIGAスクール構想による1人1台端末の実現により、児童生徒が自ら学習を進める「個別最適な学び」の実現も求められています。町内の小中学校7校では、今年度の重点として「自ら学び」「お互いに学び合う」「主体的・意欲的に」など、新学習指導要領の主旨を踏まえて設定されています。

「本当の豊かさとは？学びとは何か」という問いに向き合いながら、あらゆる可能性を秘めた子どもたちの健やかな成長のために、学校では特色ある教育活動を展開していかなければなりません。

しかし、学校のみでの教育には限界があり、どの学校も「地域との連携」をキーワードにしています。知・徳・体の調和のとれた子どもの育成のために、学校・家庭・地域が一体となって支援をすることが大切です。

本年度の各学校の児童数・重点目標（キャッチフレーズ）・研究主題などは、次のとおりとなっています。

- 紫雲古津小学校 37名 「自分の思いを表現し、意欲的に学び合える子どもの育成」
【進んで考え学び合い、豊かに表現する子の育成】
- 平取小学校 115名 「学び合い かかわり合い 高め合い」
【主体的な学びを基に、自分の思いや考えを豊かに表現できる児童の育成を目指して】
- 二風谷小学校 17名 「人とのつながりを大切にし、主体的に未来を切り拓こうとする子どもの育成」
【自ら考え、進んで他者とかかわり、学び合う子どもの育成】
- 貫気別小学校 29名 「自ら学び、考え、表現できる子どもの育成（考える子）」
【自らの考えをもち、お互いに学び合うことができる学習集団の育成】
- 振内小学校 26名 「なかまとともに、よりよくなるよう学び、挑戦し続ける振内っ子」
【少人数のよさを生かし、自ら考え、ともに学び合う子どもの育成】
- 平取中学校 99名 「変化～新たな可能性に向けた挑戦（チャレンジ）～」
【対話や協働を通じて、主体的に学び合う生徒の育成】
- 振内中学校 24名 「自分の良さを知り、その良さを高めていこうとする生徒の育成」
【自他の良さに気づき合い、課題を乗り越えていける生徒の育成】



1年生を迎える会（紫雲古津小）

5月の末から6月にかけて、小中学校では体育大会や運動会が開催されます。今年度も新型コロナウイルス感染症予防のため、午前日程での開催となります。

体育大会（体育祭）・運動会開催日

- 5月28日 平取中学校体育祭
- 6月4日 振内中学校体育大会
- 6月11日 振内小学校
- 6月12日 二風谷小学校
- 6月18日 紫雲古津小学校・平取小学校
- 6月19日 貫気別小学校

よい食一生 ● 食育だより

地域まるごと元気アップ プログラム in びらとり

日高・胆振管内初の介護・認知症予防プログラム「まる元」を開催！

4月15日、全道27番目の開催となる地域まるごと元気アッププログラム（通称：まる元）が平取町民体育館で開催されました。この日、介護予防・認知症予防を目的としたこのプログラムに、約50名が参加して身体を動かしました。鳥井健康運動指導士から、座りながら腕と足を交互に組み替える動きや、ベタンクを使った軽スポーツを教わり、参加者同士が楽しく和気あいあいとなる時間を過ごしました。これから1年間、毎週プログラムが実施されます。



ベタンクを取り入れたプログラム

認知症予防の取り組みがなぜ必要か？

①高齢者の5人に1人が認知症の時代に

日本では、認知症の高齢者が2020年時点で約600万人と推計されています。すでに認知症を発症した方では、さらに重症化しないような取り組みが重要ですが、実際には「診断を受けていないために、適切な治療に至っていない」人が数多く存在する現状にあります。その理由として、認知症について正しく理解されていないことが考えられます。

認知症に関しては、徘徊や妄想、暴言暴力などがクローズアップされますが、これらは認知症の周辺症状と呼ばれるもので、生活環境や本人の性格、他の病気等の影響で現れるものです。適切な対応やケアができれば、こうした周辺症状をある程度軽減できると考えられています。

②認知症の発症は予防できる

軽度認知障害(MCI)と呼ばれる予備群の人がさらに400万人存在すると推定されています。この段階の人は「もの忘れ」が増えてきたことを自覚しつつも、自立した生活ができるために、自分でなかなか気づきにくいという特徴があります。

MCIの状態は、何も対策をせずにそのまま放置すると、3～4年後に半数以上の人が発症するという危険な段階でもあります。一方で、適切な予防活動を行うことによって、認知機能を維持あるいは改善することができる段階とも言われています。このことから、認知症の新たな発症を防ぐためには、MCIの人を早めに見つけて予防を行うことが重要です。

介護予防の取り組み“まる元”とは

■コラボレーション型 介護予防の新しいしくみ

専門家から、体力に応じた指導を、毎週、通年で受けられます。地域を「まるごと」元気にするためのプログラム「まる元」は、ソーシャルビジネス推進センターが、コープさっぽろ、北翔大学と力を合わせて自治体をサポートします。中心は、高齢者のための運動教室ですが、文化活動や地域のスポーツイベントなども含まれます。平取町では、認知症予防を取り入れた介護予防の取り組みを進めてまいります。

“まる元”の考え

「まる元」は「安心」「安全」「科学的」であることを基本とし、他にまねのできない特徴をもつプログラムです。

- ①毎週1回、年間48回の定期的、継続的な指導
- ②指導者はすべて健康運動指導士で、コープさっぽろの職員
- ③指導者が地域を理解して指導
- ④行政とNPOが密接に連携し協力
- ⑤協定に基づく、北翔大学生涯スポーツ学部教授陣による研究、調査、支援

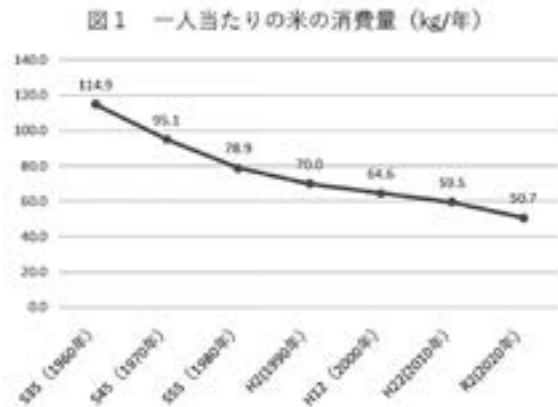
健康運動指導士とは

人々の健康を維持・改善するために、安全で効果的な運動プログラムを作成し指導する専門家です。

平取産米・道産米を たくさん食べよう

日本人の米の消費量が減っています。農林水産省の『食料需給表』によると、昭和35年度の日本人1人当たりの米の消費量は114.9kgでしたが、令和2年度には50.7kgにまで落ち込み、日本の歴史のなかで、わずか80年足らずで消費量が半分以上も減少しています。(図1)

しかし、道内の米消費量に占める北海道米の割合である『道内食率』が平成24年産米から目標の85%を超え、90%前後を推移し、令和元年産米では86%でした。



このことから、道産米は地元から愛されていると言えます。平成22年に実施した平取町食の実態調査では、「どこの産地のお米を食べていますか」という問いに、平取産米48%、道産米36%、道外産米8%、決まっていない5%、その他・不明3%でした。84%が道産米を選んで食べているという結果でした。

ごはんは私たちの 大事な主食

お米の主成分である炭水化物は、タンパク質・脂質に次ぐ、三大栄養素のひとつであり、体の中でブドウ糖に分解され、エネルギー源として利用されます。このブドウ糖は、生命を維持するための司令塔として、大変重要な器官である脳を働かせる、唯一のエネルギー源です。お米には血や筋肉など身体形成に必要なたんぱく質の他にもビタミン・ミネラルも多く含まれ、とても栄養バランスの良い食べ物です。十分なエネルギーを得て、健康的な毎日を送るために、お米を中心とした食事を取るのが大切です。



ごはんは、小麦などの粉からできているパンや麺類と違って、粒のまま摂取するので、血糖値の急上昇を予防し、ゆっくと消化・吸収されるため、腹もちがよく、間食も少なくなることで、体に脂肪を溜めるホルモンの分泌がゆるやかになり、脂肪の蓄積が抑えられます。また、お米の大部分を占めるデンプンの一部には、体内で消化・吸収されず食物繊維と同じ働きをする栄養素が含まれており、腸内環境を整え、生活習慣病を予防改善する働きが期待できます。毎食の主食としてお米はとても健康的な食品といえます。

ごはんからはじまる 早寝・早起き・朝ごはん

朝ごはんは、睡眠中に低下したエネルギーを補給し、体温を上昇させ、脳や身体を目覚めさせてくれます。朝食を摂る生活は、一日のはじまりを心身ともに整え、仕事や勉強の効率を高めてくれる大事な食事です。ほかにも体内リズムを整え、スムーズな胃腸のはたらきを促してくれます。

また、家族で会話をしながら食べることは、食事の大切さを再確認する大切な機会になります。出勤時間や登校時間の違いで家族全員が食卓につくのが難しくなったら、まずは休日だけでも、朝ごはんを家族で食卓を囲む機会にしてみたいかがでしょうか。



図書館へいこう

○開館時間 火～金曜日 9:30～18:00
土・日曜日 9:30～17:00

○休館日 月曜日・祝日
※月曜日が祝日の場合は、その翌日も休館

新着図書

★他にもあります
★オンラインで検索できます

【一般書（小説・エッセイ）】

『六人の嘘つきな大学生』
／浅倉秋成
『さよならに反する現象』／乙一
『爆弾』／呉勝浩
『脱北航路』／月村了衛
『マスカレード・ゲーム』
／東野圭吾
『スタッフロール』／深緑野分
『ピブリア古書堂の事件手帖
(2-3) 扇子と虚ろな夢』／三上延
『大人の流儀11 もう一度、歩きだ
すために』／伊集院静
『三十の反撃』
／ソン・ウォンピョン

【一般書（その他）】

『「目」のトリセツ』
／杉田美由紀
『ウルトラ解剖骨粗鬆症』
／竹内靖博
『甲状腺の病気といわれたら』
／西川光重
『今日から減酒!』／倉持穰
『先生、どうか皆の前でほめな
いで下さい』／金間大介
『土木技術者になるには』
／三上美絵
『ポイトレの教科書』／藤嶋拓未
『江戸のジャーナリスト葛飾北斎』
／千野境子

【児童書】

『香君』上・下／上橋菜穂子
『セカイを科学せよ!』
／安田夏菜
『風の神送れよ』／熊谷千世子
『はっこう』／小川忠博
『世界を変えた146人の子ども』
／ルーラ・ブリッジポート
『絶滅動物最強王図鑑』
／實吉達郎

【絵本】

『あかちゃんがきた!』
／サトシン作 松本春野・絵
『スサノオとオオナムチ』
／飯野和好
『ともだち』／くすのきしげの
り作 よしむらめく絵
『ライラックどおりのおひるご
はん』／フェリシタ・サラ
『わたしはいいこ?』
／えがしらみちこ

★★★ 図書ワゴン運行予定 ★★★

■次回 6月2日(木)
【振内地区】 10:00～12:00 山の駅ほろしり館
【貫気別地区】 14:00～16:00 貫気別生活館

■貸出期間は次回の巡回日までになります。
■毎月第一木曜日に運行します。
■貫気別支所・振内支所（青少年会館）で返却できます。

図書館カレンダー

6月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

■は休館日です

図書特別整理（蔵書点検）のお知らせ

6月14日(火)～17日(金)は、図書特別整理（蔵書点検）のため休館となります。

《蔵書点検とは?》

…図書館の資料が正しい場所にあるか、無くなっているものはないかなどを一冊ずつチェックします。

※※ 期間中の注意点 ※※

- 資料の返却は受け付けています。
- ◆返却ポスト：図書・雑誌のみ（ふれあいセンター玄関よこ）
- ◆臨時返却ボックス：図書・雑誌・CD・DVD（図書館入り口前）

※CD・DVDは破損の恐れがありますので、返却ポストには入れないでください。

●予約・リクエストなどの受け付けはできません。オンライン予約の場合も18日以降の受付となります。

●オンライン予約ができます●

「ログインパスワード」は図書館のカウンターで発行しています。

【お問い合わせ】 平取町立図書館

電話 01457-4-6666
FAX 01457-4-6871
メール risu2@guitar.ocn.ne.jp



すこやかだより

保健福祉課からの
お知らせ

目指せ! 8020!!

皆さん、『8020』って何を表す数字か知っていますか? 実は、「80歳になって自分の歯を20本以上保とう」という運動のことを表しています。「80」は男女の平均寿命、「20」は硬い食べ物も満足して食べるために必要な歯の本数となります。

では、80歳になって20本自分の歯が残っている人がいるのでしょうか? 歯科疾患実態調査（2016年調査）では、80歳で20本残っている人の割合は、51.2%であることがわかりました。

また、80歳で20本以上ある方は、ない方よりも生活の質（QOL）を良好に保ち、社会活動意欲があると調査結果や、残っている歯の本数が多いほど寿命が長いという調査結果もあります。



歯の健康は、全身の健康に繋がっている!?

歯が20本残っている方は寿命だけでなく、健康寿命も長いと言われています。それは、歯の抜ける原因であるむし歯や歯周病が、口の中だけでなく、全身の病気の発症や進行にも影響を与えるからです。

高年齢者に多い誤嚥性肺炎は、歯周病菌が肺に侵入して発症します。

また、歯周病菌の毒素によつて、動脈硬化が引き起こされ、脳梗塞や心筋梗塞のリスクを高めます。

さらに、歯周病と糖尿病は相互に影響を及ぼすことが分かっています。

歯でしっかりと噛むことは、脳への栄養や酸素を送る動作となり、認知症の予防にもなります。そのため、歯が健康であることは、全身の健康につながっているのです。



歯をまもるセルフケア

歯の健康がとても重要であること知っていたただけで、思いのままに歯を磨き続けるだけでは、歯を守ることができません。歯を磨きながら、歯周病を防ぐためのセルフケアについてお伝えします。

①日頃からケアを行う!
規則正しい食事、運動を行うこと、十分な睡眠のほかに、食事のたびにしっかりと歯を磨き、歯周病を防ぐことが重要です。

歯磨きでは、歯垢を取り除くことが大切です! 歯垢は細菌のかたまりで、むし歯・歯周病などの原因となります。

②定期検診を受ける!
定期検診に通うことのメリットは、自分では気づけない磨き残しや歯磨きのクセなど、歯科医師・衛生士が客観的な視点でアドバイスをしてくれることです。

また、むし歯や歯周病に関する検査を行い、お口のトラブルを早期発見して治

療につなげられます。さらに、歯磨きだけでは取り除けない歯垢・歯石除去など、歯の健康をキープできる予防処置を行うこともできます!

③義歯のお手入れを行う!
義歯（入れ歯）があつていないから、歯医者を受診していませんか? という方はいませんか? きちんと噛むことができない義歯などを入れて、口の中の状態を良好に保つことで、20本あるのと同程度の効果が得られるとわかっていきます。そのため、義歯のお手入れを毎日することや、噛み合わせなどを歯医者さんで診てもらいましょ



【お問合せ先】
保健福祉課 保健推進係
（ふれあいセンター1111）
電話 4-6112
お気軽にお問合せください。

今月のワンショット

- 平取町役場 総務課(代表) ☎ 2-2221
- まちづくり課 ☎ 2-2222
- アイヌ施策推進課 ☎ 2-2341
- 観光商工課 ☎ 3-7703
- 産業課 ☎ 2-2223
- 農業委員会・土地改良区 ☎ 2-2695
- 税務課 ☎ 2-2224
- 出納室 ☎ 2-2225
- 建設水道課 ☎ 2-2226
- 議会事務局 ☎ 2-2227

ふれあいセンターびらとり ☎ 4-6111

町民課 ☎ 4-6113

保健福祉課
保健推進係・福祉係 ☎ 4-6112

介護支援係・介護保険係 ☎ 4-6114

児童館 ☎ 2-3026
子ども発達支援センター ☎ 2-3400

地域包括支援センター
「ほほえみ」 ☎ 2-3700

平取町教育委員会
生涯学習課 ☎ 2-2619

中央公民館 ☎ 2-2619

町民体育館 ☎ 2-2749

二風谷アイヌ文化博物館 ☎ 2-2892

沙流川歴史館 ☎ 2-4085

図書館 ☎ 4-6666

役場振内支所 ☎ 3-3211

役場貫気別支所 ☎ 5-5204

平取町国民健康保険病院 ☎ 2-2201

平取町社会福祉協議会 ☎ 4-2267

平取町外2町衛生施設組合 ☎ 2-2024

平取消防署 ☎ 2-2361



～二風谷小学校 サケ稚魚放流～ 《アイヌ文化学習》

5月2日、二風谷ダム下流で二風谷小学校児童約20名により、サケの稚魚放流が行われました。

サケが大きくなると産卵のため、沙流川に戻ってくることや、アイヌ文化の関りについて学び、サケの旅が無事であるように願いながら、稚魚を放流しました。

すずらん短歌会詠草

「すずらん短歌会」入会者募集！ 希望者は、中央公民館生涯学習課社会教育係へ

今年から長寿番付名をつらね 年の重さを感じているなり	夜なれば友の電話に耳をよせ 過ぎ去りし日々遠く想ひて	人生も高齢なれば枝葉なく 一本道を歩いて行かん	核などと空恐ろしき口走り 無理を通すは赤子にも似て	彩放つ義経神社の御神体 八百年を語る如きに
中 沢 三子	相 田 のぶ子	中 原 千鶴子	石川原 多満代	熊谷 厚子

まちの人口と世帯数

	(前月比)	
人口	4,652 人	(51 人)
男	2,280 人	(31 人)
女	2,372 人	(20 人)
世帯数	2,431 世帯	(46 世帯)

※令和4年4月末現在の住民基本台帳による



ホームページ QR コード